



文武両輪

～学習も行事も部活動も～

令和4年12月23日

【文責】校長 蔦川 誠

冬休みに期待したいこと！

2学期も大きな事故や事件、ケガもなく、全員が元気で頑張ってきたことをうれしく思います。コロナ禍の中でも、皆さんがしっかりと体調管理に努めてきた成果です。心から感謝します。ありがとうございました。

今年度は「文武両輪の花を咲かせよう」という合言葉を使っていますが、2学期も、皆さんがこれまで努力してきた成果が次々に表れ、たくさんの立派な花を咲かせてくれました。

科学の甲子園ジュニアでは、青森県チームとして全国大会に出場し、47チーム中19位という、すばらしい成績を収めました。吹奏楽部は、吹奏楽コンクール県大会で金賞を獲得し、17年ぶりに東北大会出場を果たしました。

市中体秋季大会では、サッカー部が優勝し、県大会でも3位入賞を果たしました。他の部もそれぞれ活躍しました。

行事においても、体育祭や文化祭をはじめとして様々な行事を実施していく中で、学級・学年がしっかりと「結束」する姿が見られ、一人一人も様々な面で大きく成長することができました。

学習面でも、全校生徒が学習に意欲的に取り組む姿が見られ、教育委員会の先生方をはじめ、授業を参観した方々からは、いつもお褒めの言葉をいただきました。

始業式にお話した、「2学期、学習面・精神面ともに成長すること」を、皆さん全員が、実現できたことをとてもうれしく思います。

さて、今日は冬休みを迎えるにあたって、皆さんに期待したいことを、2つお話します。

皆さんは、学期末に入って、2学期の自分を振り返る機会があったと思います。振り返ってみると、上手いかなかったこと、後悔が残ったこともいくつかあったと思います。

しかし、それ以上に、上手いことやできるようになったことが、たくさんあったのではないのでしょうか。

例えば、「定期考査や実力テストで目標点数をとることができた。3次考査より4次考査の方が点数がアップした。」「自主勉強ノートを工夫してまとめることができた。日記も毎日提出できた。」「秋季大会や様々な大会で試合や競技に出場できた。」などの「何々できたということ」が、皆さんにとっての新たな可能性となりました。

期待したいことの1つ目は、「2学期にできたこと、即ち新たな可能性」を振り返って、自信をもってほしいということです。

新たな可能性は、3学期以降も大きな自信となって、未来を切り開いていく力となるはずです。

2つ目は、新たな年を迎えたときに、「今年、達成したいことや成りたい自分」を考え実行してほしいということ。1年の計は元旦にあり」ということわざがあります。年の始めに目標や計画を立て、それを実行することでその年が有意義な1年になる、という意味です。このことは、皆さんに是非実行してもらいたいと思います。

今年、サッカーワールドカップが大きな話題となりました。その中で、日本代表チームが、ランキングがはるかに上位のドイツ、スペインといった強豪国を次々に撃破して予選リーグを突破したことは、日本中に大きな感動と勇気を与えてくれました。日本代表の活躍の中で、私は、代表の森保監督の「ベスト8(エイト)に入って、新しい景色を見てみたい」という言葉がとても印象に残りました。新しい景色とは、今よりも更なる高みに上って見ることができ、今まで見てきたものとは全く違う、すばらしい景色なのだと思います。

大事なことは、新しい景色は今いる場所よりも一つレベルを上げて一段階、高いところからでない、見ることはできないということです。

3年生は来年の4月からは新たな場所で、新しい景色を見ることになります。そのためにも、冬休みはより一層受験勉強に力を入れて、実力をつけてください。不安や焦りもあるとは思いますが、自分を信じて、今自分にできることを粘り強くやり続けることが、進路の希望を叶えることにつながります。

1・2年生は、冬休み中、計画的に家庭学習に取り組むこと、そして、規則正しい生活を送ることが大切です。また、年明けに大会がある部は、目標達成に向けて、更に練習に励んでください。

新たな年、皆さんには、達成したいことや成りたい自分を考え実行し、更なる高みに上って、新しい景色を見てほしいと思います。

ちなみに、来年は卯年（うとし）です。卯年（うとし）の卯（う）は「うさぎ」を表しています。卯年（うとし）には、「飛躍する年」や「きっかけになる年」という意味があるそうです。何か新しいことに挑戦するには、最もふさわしい年だと言えます。

それでは、冬休みに皆さんが「2学期の新たな可能性を振り返って」、新たな年を迎えて「達成したいことや成りたい自分を考え実行する」ことを、大いに期待しています。

令和5年が皆さんにとって、良い年となることを願っています。

（2学期終業式式辞から）

各学年の代表生徒の2学期の振り返りを紹介します。

（一部抜粋・修正、注は筆者）

1年3組 中川原 好夏

私たち1学年は2学期、中学校生活にも慣れ、勉強や行事に集中して取り組むことができたと思います。勉強ではテスト勉強に慣れ、内容を見直したり、自分の勉強法を見つけたりすることで、実りある学習ができた人が多くいたと思います。体育祭では、様々な制限がありましたが、軍の先輩方が考えてくれたダンス練習がとても楽しかったです。また学年種目については、学級で作戦会議をしたり、声かけやジャンプのタイミングを話し合ったりしました。本番では互いに補い合い、一致団結することができて、私たちにとって特別なものになりました。文化祭では、仲の良い人だけではなく、普段あまり話したことのない人とも交流できて、1学年の絆がより深まりました。残り数か月間、4月からは「先輩になる」という自覚をもって、めりはりのある生活をしていきたいです。

2年2組 高山 朝陽

2学期は、体育祭や文化祭など大きな行事があり、2学年や学級全体で、団結力の向上がみられた学期でした。私も室長として、1分前着席や挨拶の呼びかけをするなど、責任をもって仕事をすることができました。2学年が今学期に特に成長したところは、前よりも一人一人、積極性がついてきたことです。生徒会役員選挙や立志式実行委員への立候補が多かったり、授業に挙手する人も多くなったりしました。その結果、以前よりも授業も円滑に進むようになりました。一方、2学年の改善点は、一人一人の声出しが足りていないことです。特に課題なのは、朝の会や授業前の挨拶、授業中の返事や反応です。3学期では、代議委員の呼びかけや立志式に向けた活動を通して、「何事も本気で取り組むことのできる学年」にしていきたいです。

3年2組 泉山 幹太

2学期、僕たちは特に体育祭と文化祭から、たくさんのことを経験することができました。体育祭では、ゼロから自分たちで考え創り上げる難しさを痛感しました。後輩たちに振り付けやかけ声を上手く伝えられずに、くじけそうになることもありましたが、支えてくれる仲間や頑張ろうとしてくれる後輩たちがいて救われました。新型コロナウイルス感染症のため、10月に延期され寒い中での開催となりましたが、僕は仲間と団結してやり遂げたこの体育祭を忘れることはできません。文化祭では初めて演劇に挑戦しました。役者はもちろん、照明、音響などの裏方の係、さらには背景画や大道具など全ての係が責任をもって活動したので、演劇を成功させることができました。僕たち3学年には、3学期、高校受験という中学校生活最大の試練が待ち構えています。勉強が進まず嫌になったり、不安で苦しくなったりするかもしれません。そんなときは周りを見てください。同じ目標に向かって頑張っている仲間がいます。僕たちはTEAMです。「TEAM～一人も見捨てず、全員合格・全員卒業～」の学年目標のもと、最後まで全員で頑張りましょう。